

在留ミャンマー人が直面する 困りごとと、その解決に向けて

株式会社ゴールデンバガン

代表取締役ナンカンモトゥン（モモ）

在留ミャンマー人

▶ 47,965人（出入国管理局『在留外国人統計』より）

政府統計の総合窓口e-start.go.jp

▶ 22,132人 男性

▶ 25,833人 女性

2010年 — 8,500人から増加 なぜ？

在留ミャンマーコミュニティ

- ▶ 2010年 軍事政権 在留ミャンマー人 約8,500人
- ▶ 2011年 民政移管後 留学生、研修生、技能実習生などの資格で入国、増加
- ▶ 2015年 民主化された後 さらに増加（高度専門職、留学、特定技能など）
- ▶ 様々なグループができ、ミャンマーの大事なお祭りイベントにて交流
- ▶ 2021年2月1日 軍クーデター後、民主派が90%
帰国できない人が多く、民主化活動家としてコミュニティがまとまった。
(ミャンマー国民統一政府NUG (National Unity of Government) をサポート)

滞在資格各種

- ▶ 高度専門職 44人
- ▶ 技術・人文知識・国際業務 7308人
- ▶ 特定技能1号 4107人
- ▶ 技能実習生1号□ 6462人
- ▶ 技能実習生2号□ 7198人
- ▶ 技能実習生3号□ 2028人
- ▶ 留学 4609人
- ▶ 家族滞在 1304人
- ▶ 難民認定・手続き中 801人
- ▶ 永住2680人
- ▶ 定住 2449人
- ▶ その他・特定活動（緊急避難措置ビザ

ミャンマー人が困っていること

【日本語・異文化・生活の問題】

- 日本語が十分理解できないので、日本のルール・習慣が分からないのが多い（騒音、駐輪問題）
- 病院で診察を受けるとき言葉が通じない、医療保険制度も分からない
- 母国語で書かれた情報が少ない

【技能実習生の問題】

- 技能実習生が未だにいじめられている
- 職場から逃げた場合、住居・税金の問題（携帯電話を所持していない。収入がないため保険加入が難しい）

【ビザの問題】

- ビザ変更（緊急避難措置ビザ）28時間規定されている

改善するためにお願いしたいこと

【言葉の問題】

- ▶ 日本語の学習支援ができる場が欲しい
- ▶ 通訳がない場合、優しい日本語を使って欲しい
(日本語が理解できないため、特に病院、不動産会社、職場、役所の窓口で大変なこと、ショックなこと、誤解されることが多い)
- ▶ 母国語で情報があると嬉しい

【交流】

- ▶ 地域ごとに交流できる場を作っていただきたい
- ▶ 技能実習生から特定技能になるために必要な情報交換の場が欲しい
(現状よりも向上するために日本人と交流しながら友達をつくりたい)

【お願い】

- ▶ Do & Don't をはっきり日本人から伝えて欲しい
- ▶ 異文化コミュニケーションを取り、理解し合いたい



ご清聴ありがとうございました！

